



植物画入門ワークショップ

自己紹介



こんにちは。マリア・ヴァレンティナ・フィッシャーです。オーストリアの小さな山村で生まれました。

学校のインターンシップをきっかけに農業に興味を持ち、卒業後、乳製品・チーズ製造の専門職として3年間の徒弟修行をし、複数の小規模家族経営農場で実務経験を積み、オーストリアのほか、ノルウェー、ドイツでも働いてきました。直近ではドイツで小規模ファームチーズ工房の運営を担当していました。

チーズの他には、ハーバリストの資格も取得し、アロマセラピストとして活動、ハーブウォークやナチュラルコスメの講座も行ってきました。また、ウィーン、リンツ、グラーツで植物画（ボタニカルアート）も学びました。

10月から旅をしており、これまでバルト三国やロシアを訪れました。鹿追での生活に溶け込み、新しいことを学び、自分の知識を共有できる機会をととても嬉しく思っています。オーストリアと日本の文化が、チーズ、ハーブ、アートを通して交差する面白い組み合わせに、今からワクワクしています。

植物画入門ワークショップ

植物をただ描くだけでなく、「よく見る」ことから始める2日間のワークショップです

植物画は写真がない時代に、植物の姿を正確に記録するために描かれてきたもので、植物を精密に観察し、美しく描き出すアートとしても親しまれています。

写真が簡単に撮れる時代だからこそ、じっくり観察し、形や影、色の違いを丁寧に追う時間には別の魅力があります。

講座では、植物画の基本的な考え方や歴史、植物の観察の方法、影の見方、色の混ぜ方、道具の選び方について紹介します。オーストリアで教えられているドライブラシによる水彩技法にも触れます。

こうした技法には時間と忍耐が必要です。植物画は短時間で仕上げるものではなく、じっくり観察し、少しずつ描き重ねていくプロセスです。2日間かけることでその面白さが見えてきます。

植物を新しい目で見てみたい方、静かに集中する時間を楽しみたい方、どうぞお気軽にご参加ください。

【日時・会場】3月28日（土）、29日（日） 9:00～17:00

ピュアモルトクラブハウス

【参加費】 2,000円

▼お申し込みはこちら

<https://forms.gle/Wwnbrfc25LDYrvgF8>

植物画入門ワークショップ

【持ち物】

- ・できるだけ硬めの鉛筆（例：H4）と鉛筆削り
- ・メモ用紙
- ・消し跡が残りにくい消しゴム
- ・水を吸う布

【あればお持ちください】

- ・細くて先のとがった筆
- ・水彩絵の具 ※絵具はこちらでも用意します
- ・やわらかい鉛筆
- ・水を入れるコップ
- ・色を混ぜるための小さな白い皿

※植物画を描く画用紙はこちらで用意します。

※お持ちいただいた筆や絵の具が適さない場合は、こちらでもご用意します。

【マリアさんお別れ会】

3月29日（日）17:30～19:30には、マリアさんとのお別れ会も開かれます。

参加費は無料です。料理・飲み物は持ち寄りをお願いします。

主催：鹿追ノマド交流プロジェクト（錦光山、吉村）

問い合わせ先：08043308304

メール shikaoilocal@gmail.com